



記事 1. 「仙台市東西線の駅施設等に関する技術研究会」を開催

2. 全国地下鉄輸送人員速報

(情報提供)

1. 「仙台市東西線の駅施設等に関する技術研究会」を開催しました。

去る1月14日(木)から15日(金)にかけて、仙台市交通局様の協力を得て、荒井車両基地会議室において、「仙台市東西線の駅施設等に関する技術研究会」を、地下鉄事業者9社局21名の参加を得て開催しました。

この技術研究会は、全国7番目のリニアメトロとして、昨年12月6日に開業した東西線の駅施設及び車両の最先端のバリアフリーや最新の技術により開発・構築されたリンク式操舵台車等について、その取り組みの概要を紹介するとともに、地下鉄事業者の方々に駅施設等を直接ご覧いただき、技術・知識の向上や施設の改良などの事業計画に役立てていただくことを目的として開催したものです。

最初に仙台市交通局の田代鉄道技術部長から挨拶があり、続いて同局青田推進係長より東西線建設に係るこれまでの経緯及び営業キロ13.9km、13駅の東西線の路線の特色を紹介して頂き、「東西線」は道路下を活用した路線であり、青葉通一番町駅から荒井駅までは、駅部を除き、トンネルは全てシールド工法を採用しており、この間に道路に合わせて5箇所(105R)の急曲線があるとのことでした。

また、仙台駅(レール標高5.7m)から八木山動物公園駅(レール標高136.4m:全国の地下鉄で最も標高の高い駅)までの西側区間では、全て上り勾配であり、その最急勾配は57パーミリであるなど、非粘着駆動であるリニアメトロの特性を十分に生かした路線となっています。



次に、同局菅井建築係長から、駅のデザインは、駅周辺地区のまちづくり協議会等と連携し、まちの地域性やイメージを確認しながら、幅広く市民の皆様が親しまれる魅力ある空間となるようデザインされ、また、東西線の建設にあたっては、高齢者や、障害のある方、また、車いすやベビーカーを利用する方々などと様々な視点から意見をいただき、移動の負担が少なく、快適で安全・安心にご利用いただけるようバリアフリー化及びユニバーサルデザインを推し進めたとの説明がありました。

続いて、同局車両課の中村主幹から、従来のリニア台車に比べ、曲線通過性能を向上させたリンク式操舵台車を導入したねらいについての説明があり、その後、車庫に移動して、実車を見ながら従来台車との相違点やリンク式操舵機構について、ご教示いただきました。

二日目は東西線に乗車し、同局菅井、青田両係長の案内で、主要駅である八木山動物公園駅、国際センター駅、仙台駅のレイアウト及びデザイン、バリアフリー化の状況について見聞しました。

八木山動物公園駅は、東西線の西側の起点駅で、眺めの良いまちのイメージを駅の天井に青い空や白い雲として取り入れ、壁や床には、動物の写真や足跡をデザインして、見る人を、明るく楽しい気分させる駅になっていました。

また、仙台国際センターの北側に設置され、仙台城跡への玄関口でもある国際センター駅は、地下1階、地上2階建ての構造で、2階部分には市民利用施設を併設し、駅の重厚で格調高いデザインに加えて、外壁を全面ガラス貼りとし、自然光を取り込むことで、開放的な空間となっています。



次の仙台駅は、南北線仙台駅の真下に交差した形状で構築されており、改札口は、南北線、東西線の共通の改札口となっています。

また、東西線、南北線及びJR線との乗り換えのスムーズさを意識したレイアウトとしており、エスカレータや案内サインも充実していました。

一方、各駅共通の主要なバリアフリー設備としては、可動ホーム柵の設置に加え、車両とホームの段差を少なくし、すき間に調整材を設備することで、車いすやベビーカーでの乗降を容易にしているほか、全車にベビーカー利用者も利用できる車いすスペースを設置しており、車内案内設備も充実していました。



また、トイレは、誰もが利用できるよう改札外に設置しており、多機能トイレには、シャワー式の洋便器の他、オストメイト対応洗浄器具やおむつ交換シート等が付けられており、広々として、使い易いやすいトイレとなっています。

また、エレベータ及びエスカレータは、全駅に設置されており、とても垂直移動しやすい設備となっていた。

備となっていた。

本研究会は、二日間にわたり実施しましたが、仙台市東西線の最新のバリアフリー設備や新技術を導入した車両などは、今後駅整備などを進める上で大変参考になるものであるなど、実り多い研究会となりました。

2. 平成 27 年 11 月の全国地下鉄輸送人員速報がまとまりました。

4 頁参照

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp

平成28年1月22日
(一社)日本地下鉄協会

平成27年11月の全国地下鉄輸送人員速報(情報提供)

平成27年11月の速報による全国の地下鉄輸送人員は、下表のとおりです。

集計対象は、東京地下鉄(株)及び札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、福岡市の各公営地下鉄の10地下鉄です。

【11月のコメント】11月の全国地下鉄輸送人員(速報)は、約4億8千4百万人で、対前年同月比3.1%増(定期旅客3.4%増、定期外旅客2.8%増)となった。

大都市圏のみならず、地方圏をも含めた全ての社局で増加しており、また、定期旅客、定期外旅客とも増加傾向が続いている。これは、都市部の雇用環境の改善や訪日外国人を含めた旅行者の増加などが要因として考えられる。

年度・月	地下鉄輸送人員 (千人)		うち定期旅客 (千人)		うち定期外旅客 (千人)	
	前年比(%)	前年比	前年比	前年比		
平成24年度	5,346,288	2.7	2,731,732	2.5	2,614,558	3.1
25	5,538,488	3.6	2,851,048	4.4	2,687,440	2.8
26	5,621,970	1.5	2,912,567	2.2	2,709,402	0.8
25年11月	461,708	2.9	239,368	3.1	222,340	2.7
12月	450,765	2.7	215,667	2.7	235,098	0.3
26年1月	455,873	3.3	237,420	3.2	218,452	3.5
2月	431,270	2.8	223,013	3.4	208,258	2.2
3月	505,415	11.8	261,834	19.5	243,582	4.4
4月	465,453	1.0	240,977	2.8	224,476	-0.8
5月	485,904	3.1	258,762	5.8	227,141	0.2
6月	466,034	0.6	247,779	1.3	218,255	-0.1
7月	480,628	2.9	248,861	4.2	231,767	1.5
8月	466,473	3.2	242,203	5.6	224,269	0.8
9月	456,493	0.6	236,968	-1.3	219,526	2.9
10月	476,173	2.3	249,222	3.1	226,951	1.4
11月	469,704	1.7	246,673	3.1	223,030	0.3
12月	463,014	2.7	225,094	4.4	237,921	1.2
27年1月	467,786	2.6	246,886	4.0	220,901	1.1
2月	443,644	2.9	231,892	4.0	211,753	1.7
3月	480,663	-4.9	237,248	-9.4	243,415	-0.1
4月	p486,614	p4.5	p249,674	p3.6	p236,941	p5.4
5月	p492,247	p1.3	p261,014	p0.9	p231,232	p1.8
6月	p492,189	p5.6	p261,615	p5.6	p230,576	p5.6
7月	p495,519	p3.1	p253,938	p2.0	p241,582	p4.2
8月	p480,770	p3.1	p247,767	p2.3	p233,002	p3.9
9月	p481,433	p5.5	p254,290	p7.3	r227,143	p3.5
10月	p491,400	p3.2	p255,512	p2.5	p235,887	p3.9
11月	p484,300	p3.1	p254,973	p3.4	p229,327	p2.8

(注)1. "p"は速報値、"r"は改定値。

2. 四捨五入の関係で、定期・定期外の積み上げ値と地下鉄輸送人員は異なる場合がある。

※ 本日、この資料は国土交通記者会及び国土交通省交通運輸記者会にお届けしています。

【問い合わせ】(一社)日本地下鉄協会 業務部長 石島 03-5577-5182